資料２

太陽光発電検討部会　イメージ

新エネルギー導入促進のイメージ

新エネ導入

導入を促進することで
産業振興につなげる！

県内経済の活性化
新エネ産業の育成

太陽光発電（住宅用・事業用）

現状

◆補助金・・・（効果はあるが、限定的）
◆ＦＩＴ、余剰電力買取制度

導入インセンティブが働きやすい
制度や環境が整いつつある

乗り遅れないためにも

例　・おひさまソーラー（飯田市、備前市）
　　・横浜市　グリーンパワー
　　・新潟県　家庭用太陽光発電普及促進事業
　　・神奈川県　ソーラーバンク　　など

課題

◆導入のための初期負担大
※県民世論調査では約 50%の回答者が
「100 万円超の負担では検討困難」と回答。

解決策が必要

＜ポイント＞
・県内資本の投資
・県民へのメリット

初期投資ゼロの
高知県モデルの抽出

新たな産業、事業の創出

県内の企業・団体へ参加呼びかけ

太陽光発電検討部会
検討スケジュール

①勉強会
・先進事例
・現状の把握
第１回
１２月上旬

②企画提案
・事業案の洗い出し
・意見交換
第２回
１月初旬

③高知県モデルの抽出
・提案モデルのブラッシュアップ
・課題の洗い出し
第３回
１月下旬

④高知県モデル
・課題の解決策
・次年度の取組とスケジュール
第４回
２月中旬

（アプローチの仕方、パネルをより安く仕入れる方法などの検討）